

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	メダル獲得に向けたマルチサポート戦略事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・未定		担当課室	競技スポーツ課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 X I-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「スポーツ基本計画」(平成24年3月30日文部科学省策定)及び「スポーツ立国戦略」(平成22年8月26日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「夏季・冬季オリンピック競技大会それぞれにおける過去最多を超えるメダル数の獲得」等の実現を図るため、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発などについて、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施(マルチサポート)する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発などについて、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、パフォーマンスの最大化に焦点を当て、第17回アジア競技大会、第2回アジアパラ競技大会(2014/韓国・仁川)での競技への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。 また、パラリンピック競技について、上記取組の具体的な支援内容の分析等を行いつつ、トライアルを実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	2,912
		補正予算						
		繰越し等						
		計						2,912
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25、28年度)
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数	成果実績	メダル獲得数					29年度:11(冬季) 28年度:39(夏季)
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	オリンピック競技大会でメダル獲得が期待できるターゲット競技数	活動実績 (当初見込み)	回		()	()	()	※26年度の活動見込である。 (20)
		算出根拠	単位当たりコスト＝平成26年度メダル獲得に向けたマルチサポート戦略事業要求額(2,909,880千円)÷ターゲット競技数(20競技)					
単位当たりコスト	1ターゲット競技当たりのコスト (145,494千円/1競技)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0.3百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,912百万円				
	職員旅費	-	1.8百万円					
	委員等旅費	-	0.1百万円					
	スポーツ振興事業委託費	-	2,910百万円					
	計	-	2,912百万円					
					※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。			

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、スポーツ基本計画の「ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化」においてその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高い事業である。また、トップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、国際競技力の向上に資する本事業は、広く国民のニーズがある事業である。なお、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった成果目標を達成するためには、ナショナルレベルのアスリートを対象に、統括競技団体、中央競技団体及び強化・研究関係機関と連携を図りながら事業を進める必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	委託契約の締結に当たっては、受益者との負担関係や事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、適切な執行に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	当事業は、我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するものであり、効果的かつ実効性の高いものとなっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	<p>本事業は、スポーツ基本計画の「ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化」においてその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高い事業である。また、トップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、国際競技力の向上に資する本事業は、広く国民のニーズがある事業である。なお、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった成果目標を達成するためには、ナショナルレベルのアスリートを対象に、統括競技団体、中央競技団体及び強化・研究関係機関と連携を図りながら事業を進める必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、マルチサポート事業推進会議を開催し、進捗状況、課題、成果を共有するなどにより、本事業の成果目標に沿った適切な執行に努めることとしている。</p>			
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				
スポーツ基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm 「マルチサポート事業」ターゲット競技種目の指定について： http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/04/1330534.htm				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年	平成23年	平成24年	

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
2,912百万円

諸謝金、職員旅費、委員等旅費
2百万円含む

我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発などについて、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、パフォーマンスの最大化に焦点を当て、第17回アジア競技大会、第2回アジアパラ競技大会(2014/韓国・仁川)での競技への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。
また、パラリンピック競技について、上記取組の具体的な支援内容の分析等を行いつつ、トライアルを実施する。

【公募・委託】
A. アスリート支援の実施等:
1,756百万円
民間団体

強化合宿や競技大会における動作分析、ゲーム分析、情報収集、栄養サポート、コンディショニングサポート、心理サポートなど、各分野の専門スタッフが、スポーツ医・科学、情報等を活用して、トップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施。
また、第17回アジア競技大会、第2回アジアパラ競技大会(2014/韓国・仁川)において、競技直前の準備のために選手、コーチ、サポートスタッフが必要な機能(分析サポート、リカバリー・コンディショニング、コミュニケーション・リラクセス、情報戦略)を選択できるサポート拠点を設置。

【公募・委託】
B. 研究開発プロジェクト:
1,154百万円
民間団体

我が国の科学技術を活かして、選手専用(テーラーメイド型)の競技用具やウェア、シューズ、日本人の弱点を強化するための専用トレーニング器具、コンディショニング、疲労回復方法等の研究開発を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.アスリート支援の実施等(民間団体)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	フルタイムサポートスタッフ、フルタイム情報技術スタッフ、フルタイム事務スタッフ	681			
旅費	サポートスタッフ旅費、事前調査(仁川)、長期滞在スタッフ、交代スタッフ等	382			
借料及び損料	複合機、PC、サポート活動レンタカー、マルチサポート・ハウス借料等	201			
雑役務費	マルチサポート・ハウス会場設営費、運営費(受付、警備、清掃等)、映像サポート環境構築等	108			
消耗品費	消耗品	84			
通信運搬費	サポート活動用携帯電話通話料、インターネット通信料等	87			
備品費	トレーニング用機器、サポート機器等	56			
諸謝金	パートタイムサポートスタッフ	4			
一般管理費	上記経費(※一部除く)の10%	154			
計		1,756	計		0
B.研究開発プロジェクト(民間団体)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	研究開発用機器	363			
賃金	研究スタッフ、研究補助スタッフ、事務スタッフ	352			
雑役務費	制作・加工・テスト経費	182			
旅費	研究スタッフ、研究補助スタッフ、事務スタッフ	86			
消耗品費	消耗品	28			
借料及び損料	スタッフ用PCリース、複合機リース(保守含む)	22			
諸謝金	被験者謝金	16			
一般管理費	上記経費の10%	105			
計		1,154	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。